

情報かわら版

川崎市立小学校情報教育研究会
会長 石堂 真理子 (住吉小学校)
平成23年8月 No. 4
担当 平小学校 福山 創

「川崎市総合教育センターとの共催研修会」を開催しました。

「ICT活用で わかる・楽しい授業づくり」



「教材提示装置やワイヤレスペンタブレットの使い方を基本から改めて教えていただくことができました。教室にせっかくなのに使っていない。有効な機能についても理解でき、とても勉強になりました。」(参加者アンケートより)

第1部はエルモ社のスタッフによる、教材提示装置やワイヤレスペンタブレットについてのデモンストレーション。実際の授業で活用できる様々な実践例の紹介を通して、ICT機器の有効な機能を研修しました。



「すぐに実践に生かすことができる内容でした。」「少人数で楽しく授業づくりができました。ICTの組み合わせ方も様々あり、実態に応じて使い分けができることがわかりました。」(参加者アンケートより)



第3部では、ICTを活用した「わかる・楽しい」授業づくりを行いました。黒板など既存のメディアとの使い分けも大切なポイントです。

をテーマに、7月29日、70人を越える参加者が住吉小学校に集まり研修会が行われました。「普通の授業の中で、デジタルカメラ・教材提示装置・コンピュータ等のICT機器を教室の大画面テレビとつなげて活用しよう」と、4部構成の研修会に取り組んだ参加者の皆さんは、大変充実した1日を送ることができたようです。たくさんのご参加ありがとうございました。

「ほとんど操作したことがなかったので、基本的なことがわかってよかったです。」(参加者アンケートより)



第2部では、5人程度のグループに分かれてICT機器の操作体験を行い、実際の授業場面ではどのような活用ができるか具体的に話し合いながらICT活用のスキルアップを図りました。

「たくさんの機器を使わせてもらって、こんなのもできるかな？ あんなのもできるかな？と、みなさんで考えていってとても楽しかったです。国・算以外でも鍵盤ハーモニカや図工など、使える場面がたくさんあるな～と思いました。」(参加者アンケートより)

「授業力があってこそICTという言葉が胸に響きました。」「『いつか』ではなく、『すぐ』実践しようという気持ちを持ってました。」(参加者アンケートより)



第4部では、グループごとに考えた授業場面を全体研修の場でお互いに発表し合い、樋口指導主事のご指導のもと、ICT活用のポイントを参加者全体で共有しました。